

## 平成 23 年度 経営体育成基盤整備高根西部地区区画整理 1 工事について

会社名 岳南建設株式会社

監理技術者 小宮山信義

### 1. はじめに

本工事は、御殿場市の北部に位置しており、現況水田は形状が悪く、小区画で、農道は狭く、用水路や排水路は老朽化が進んでいる状況でした。そのため、中型以上の機械の導入が困難で、水不足や湿田にも悩まされていました。そこで、形を整えた大きな水田、道路、用水路、排水路を整備し、効率的な農業による生産性の向上を図るため、区画整理を中心とした工事です。

### 2. 工事概要

工事名 平成 23 年度 経営体育成基盤整備高根西部地区区画整理 1 工事

工事場所 御殿場市 六日市場

工期 平成 23 年 6 月 7 日～平成 24 年 2 月 17 日

発注者 静岡県東部農林事務所

工事概要 区画整理工 5.0ha、整地工 4.49ha、用水路工 550m、排水路工 424m  
道路工 516m

着手前



完成



### 3. 今工事での課題と注意点

#### ● 地権者、発注者、施工業者との調整

個人の土地を公共事業（県営工事）で、工事を行い完了後、個人に土地を換地するという事で、『公共事業で有りながら、民間の工事でも有る』というのが難しい事業である。まず地権者に、工事着手前に現地説明会を行った。この時、田区、用排水路、道路の位置・高さの説明を行いまた、取水口、田区排水口の設置位置の確認をした。これら、説明後、地権者より要望があれば個々に対応し、後にトラブルの無いようにした。そして要望等を反映させた施工図を作成し、監督員の承認後に現場着手した。施工図作成に当たっては『水田への機械乗入のし易さ』『水管理し易さ』等を考慮し、道路・ほ場・用水路の高低差・全体土量等を勘案し作成した。

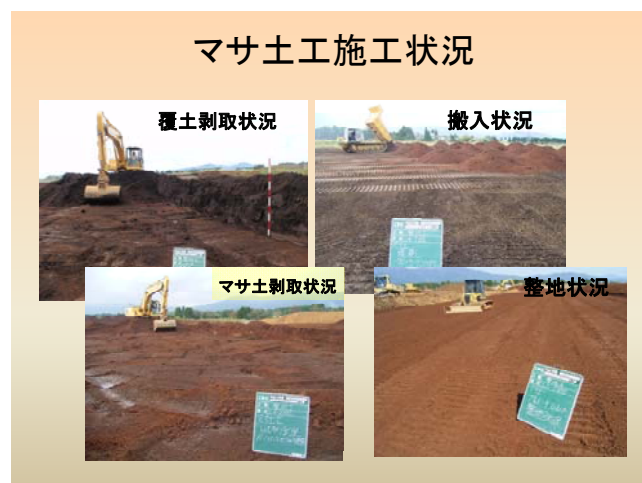
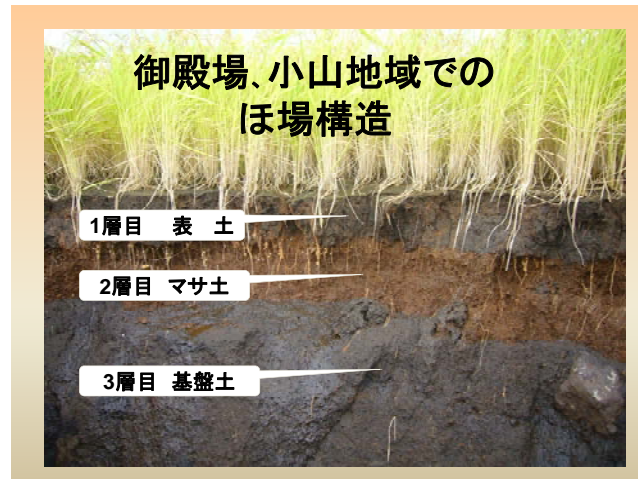
各田区の基盤工完了後に、各地権者と2回目の現場説明会を行った。この時、基盤造成時、どのような土質で盛土をしたか、また富士山の泥流層がどの辺りまで有ったかなどを説明し、また湧水が有った場合は、捕水工で処理を行い、捕水工の入れた場所の説明もした。このように地権者に、不可視部分の確認を行うことで、引き渡し後のトラブル防止になったと思う。

工事完了後地権者、取り扱い説明会を行った。大区画化されたほ場の、耕作上の注意点や、用排水口の管理の仕方など、実際に現場で操作することで、地権者が安心して耕作できるように心がけた。



## ● マサ土量の確保

本工事のほ場は、表層(耕作土)+マサ土層+基盤土層の3層構造である。既存のマサ土層については、事前に試掘(1000㎡/1箇所)を行い、マサ土量の算出をするものの、実際は、堆積区域や堆積厚がバラバラであり、確保できる土量の把握が困難であった。確保できるマサ土量を常に把握し、ほ場計画高など随時調整した。この辺りが、御殿場地区のほ場整備工事の難しさと思う。



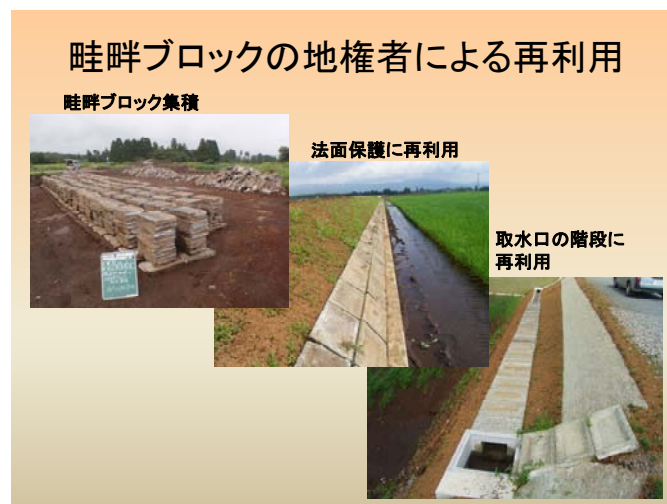
- 水生生物の保護

区画整理工事によって、既存水路等に住み着いていた、水生生物を捕獲、採取して 区域近隣の河川へ放流し、自然保護に努めた。



- 畦畔ブロックの再利用

既存畦畔ブロックは各地権者の 財産であるため、現地説明会の時、必要か必要でないか確認をし、再利用を望む地権者へ返却した。撤去の際には、再利用できるように、丁寧に撤去・集積した。撤去した畦畔ブロックは、法面保護や階段の設置等に有効に活用できるため、本地域では 非常に需要が高く、再利用可能な 畦畔ブロックについては、ほぼ全てが、地元で再利用されている。



#### 4. まとめ

ほ場整備工事において難しいのは、地権者に工事中説明・確認をして、了解して頂いたとしても、現場が出来上り耕作をみると、『水路をもう少し下げられなかったのか』『水路の分水が操作しにくい。』などの、意見が地権者から受ける事が有る。『業者はこれでお終りだけど、俺らは一生これで耕作するのだぞ』と、言われた事もあった。確かに後

から、考えれば『工事中に分かれれば・・・』と思った。工事に関係する地権者、土地改良区、県担当監督員、現場代理人が、理解、納得いく形で何度も協議、調整をして工事を進め、互いに信頼関係を構築していかなければならない。また、この協議、調整がもつとも時間が掛かり、一番大変で一番大切である。このようにして、ほ場整備工事において、色々な、失敗や経験を積み又、地権者、土地改良区、県担当監督員に、色々な教えて頂き、今日の私が有ると思う。また、工事に関わった、皆様の協力と、沢山のご指導を頂いた 東部農林事務所の監督員の皆様に 感謝の意を表します。